

長野県上田千曲高等学校

創立一〇〇周年記念事業募金趣意書

同窓会員の皆様には、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、母校上田千曲高等学校は、来る平成二十九年(二〇一七年)を以て町立上田女子実業補習学校として大正六年(一九一七年)に発足されてより数えて一〇〇周年を迎えることとなります。創立以来、卒業生は二万七千余名の多きに至り、国の内外を問わず各界各所において立派に活躍されており、誠に同慶に堪えないところであります。これに伴い、母校上田千曲高等学校の教育環境も、専門学校としての理想的な姿に年々整備されており、在校生が熱心に勉学に、生徒会活動・部活動に励んでいることを嬉しく思います。これも偏に、同窓皆様のご高配、ご支援の賜物と関係者共々衷心より感謝いたしております。

同窓会として母校創立一〇〇周年の記念事業について検討してまいりましたが、学校当局と協議した結果、今日の時代に即応した生徒の学習環境の一層の充実が求められている実情を勘案して、夏季の学習環境の改善(教室・実習室への扇風機・エアコン整備)、及び専門高校として世代をリードする太陽光発電システムを設置する計画を立て、平成二十五年九月七日に開催されました同窓会総会において提案し、満場一致で可決されました。

現在長野県では、少子化に伴い高校改革が進められていますが、母校もとすれば縮小の方向に考えなければならぬ情勢もありえ、その対策としては入学者の確保を第一に考慮しなければなりません。それには一層の施設整備を行い、専門校として又部活動を通して魅力有る学校創りを目指すことが重要と考えます。今回の事業は、その一環として計画いたしました。

つきましては、同窓会会員各位には、この大事業完遂のため、積極的にご賛同頂き、格段のご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

平成二十六年(二〇一四年) 七月 吉日

長野県上田千曲高等学校創立一〇〇周年記念事業実行委員会

顧問 (上田市長)	母袋 創一	参与 (市会議員)	金子 和夫	副会長 (PTA会長)	能勢 千春
(東御市長)	花岡 利夫	(同窓顧問)	田中 重信	(同窓副会長)	宮下 六朗
(長和町長)	羽田健一郎	(同)	成沢 秀敏	(同)	春原 宗明
(坂城町長)	山村 弘	(同)	久保田高冬	(同)	大口 義明
(青木村長)	北村 政夫	(同)	宮澤 令行	(同)	滝澤 威
参与 (県会議員)	平野 成基	(同)	大川 秀一	(同)	横塚 和子
(同)	高村 京子	会長 (同窓会長)	若林 邦彦	(同)	田辺 基子
(同)	清水 純子	副会長 (会長代行)	深町 共榮	(同)	宮下 幸良
(同)	堀場 秀孝	(学校長)	柴田 修身	(同)	山部 一巳

同窓会会員各位

募 金 要 綱

記念事業計画

- | | |
|------------------------------|---------|
| 一、記念事業及び募金使途計画 | 総 額 |
| 1、教室・実習室の環境整備 (扇風機・エアコンの設置) | 六、五〇〇万円 |
| 2、太陽光発電システム設置 | 一、七〇〇万円 |
| 3、桐葉館卓球場の床張替 | 二、〇〇〇万円 |
| 4、教育活動基金・クラブ活動活性化助成 | 四〇〇万円 |
| 5、記念式典・美術展・講演会・記念誌・その他事業関連経費 | 五〇〇万円 |
| | 一、九〇〇万円 |

二、募金計画

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 募金目標額 | 六、五〇〇万円 |
| 1、一般寄付金 一口 五、〇〇〇円 (一口以上何口でも可) | 四、五〇〇万円 |
| (同窓会員、PTA、職員、個人) | |
| 2、篤志寄付金 一口 一〇、〇〇〇円 (一口以上何口でも可) | 二、〇〇〇万円 |
| (法人) | |

- 三、記念式典は、平成二十九年十月の予定
- 四、寄付金の締切りは平成二十九年九月末日の予定